

第44回 ASPAC 台北大会

第44回 ASPAC 大会は2019年3月7日から9日までの3日間、台北市の台北国際会議センターで開催されました。今回の登録者数は全体で1,374名（台湾922名、海外から452名、内日本から143名）で、全登録者数も日本からの登録者数も前会に比して約50%増しで盛会の内にプログラムが進行しました。

天候は生憎曇り時々雨の日々で、本来暑いはずの台北市ですが、「日本より南に位置しているのにこれほど気温が低いと思わなかった」という沖縄クラブの会員の言葉が印象的でした。

5～6日には本大会に先立ち次期ガバナー・委員長の研修会が行われ、日本からも関係者が参加しました。

7日には ASPAC 役員会のほか、地区ガバナーと国際会長のミーティング、次期ガバナーと次期国際会長のミーティング、ASPAC 副議長に



よるキワニス国ワークショップ等が開催されました。



同日の夜は恒例の日本地区夕食会が現地の有名中華料理店「欣葉」で開催され、各クラブから60数名が参加し、舌鼓を打ちながら懇親を深めました。

8日の午前中は、午後からの本大会前にと、日本地区のブース設営がなされましたが、現ガバナー、次期ガバナー、前ガバナーを筆頭に皆一緒に汗を流しての協働作業が印象

的でした。



8日午後2時から本大会が式次第に沿って進行され、後半には各地区代表による報告があり、日本からは吉田ガバナーによるプレゼンテーションがされました。



また、夕方には各国による展示ブースの審査会があり、審査員が各ブースを回り評価しました。その後同会場で別フロアにて登録者全員での歓迎夕食会が開催されました。



大会二日目の9日の主たる議題は「規約改正」、および「次期役員を選出」でした。

今回規約改正はありませんでしたが、ASPAC 役員会から以下のような方針および運営手続への変更が報告されました。

- ASPAC 大会登録料の支払いを米ドル又は開催地の通貨の換算額で支払えることとする。
- マレーシアのキー・リーダーに各国から参加者を招待する。

(この件は、ASPAC 積立金の使用を含め、6月オランダでのASPAC 役員会で審議予定。)



役員選挙の結果は以下の通りです。

役職	氏名	所属地区/国	備考
ASPAC 議長	Lo Chang-Chien	台湾	
ASPAC 次期議長	Ken Alovera	フィリピン南	
ASPAC 副議長	Clinton Green	ニュージーランド 南太平洋	
キワニス国代表	Judy King	香港	
		(モンゴル?)	オランダで決定予定
		(カンボジア?)	オランダで決定予定
2019-2022 国際理事	Cheng Lian Teh	マレーシア	

次年度 ASPAC 役員 (ASPAC さよなら夕食会で発表されたもの)

役職	氏名	所属地区/国
ASPAC 事務総長/財務担当	Michael Chiew	マレーシア

続いて将来の ASPAC 開催に関し以下が報告確認されました。

2020/3/5-7 (プログラム記載の 日程から変更)	カトマンズ (ネパール)	・会場:Narayanhiti Royal Palace Kathmandu (?) ・公式ホテル (2つ) : Hotel Yak and Yeti (?) Hotel Annapurna (?) ・登録料 : USD 200
2021/3/10-13	仙台 (日本)	
2022	マニラ	国際大会と合同

今回は予想外の (事前予告の無い) プログラムがありました。それは台湾を代表する蔡総統が来場され、ご挨拶頂いたことです。元々キワニスクラブに対するご理解ある方と伺っていましたが、わざわざ本大会にお越しになられる事は参加者全て当日驚きと喜びをもって知りました。

閉会に先立ち各審査対象に対しての選考結果が発表されましたが、残念ながら日本は入賞を逸しました。各賞および選考結果に関しては以下の通りです。



賞	順位	受賞地区/国
地区/国報告賞	1位	台湾
	2位	フィリピン南
	3位	フィリピン・ルソン
奉仕プロジェクト賞	1位	フィリピン南
	2位	台湾
	3位	マレーシア
展示賞 (審査員 : Daniel Vigneron, Peter Mancuso, Filip Delanote)	1位	フィリピン南
	2位	マレーシア
	3位	フィリピン・ルソン
	選外	日本

ここで特筆すべきことは、日本地区の展示ブースではキワニスドール・プロジェクトの紹介をテーマに、国内各クラブの協力のもと製作された 60 数体のドールを展示したことです。各ドールは通常の白無垢と異なり、日本の文化を紹介する意味を込めて、工夫を凝らし着飾りして頂きました。それをオークション形式で来場者にお分けし、結果 12,100 台湾ドル (約 43,500 円) が集まり、閉会式で吉田ガバナーから台湾のヤン・ガバナーに贈呈されました。この寄付は子ども達のための活動に使ってもらおうことになっています。



文化プレゼン テーション賞	1位	フィリピン・ルソン	
	2位	台湾	
	3位	フィリピン南	
	参加賞	日本 (ほか全地区)	

閉会式の後、歓迎夕食会と同じ要領でさよなら夕食会が開催されました。
 今大会を通して最終日の夕食会に至るまで次期 ASPAC 開催予定ホストである仙台クラブの会員が佐藤前ガバナーを筆頭に、新デザインの法被を着て大変積極的に来場の呼びかけパフォーマンスをされたことが印象的でした。

